



ZENMU

ZENMU for PC Ver 5.4.0

XML ファイルによるカスタマイズ

インストール・アンストール編では、ZENMU for PC ご利用前にご確認頂きたい内容、インストールおよびアンインストール方法を記載しています。

株式会社 ZenmuTech

目次

1. 概要	3
2. 過去の version との互換性	3
3. Ver5.4.0 の変更点	3
4. ZenmuPC_Config.xml	3
5. ZENMU for PC のログファイルの保存期間設定	4
6. ZENMU モードスタート画面のカスタマイズ	4
6.1. ボタン文字列の設定	4
6.2. メニューの表示制御	5
6.3. 任意のアプリケーションを起動するメニューを設定	6
7. 設定画面のカスタマイズ	6
7.1. 「詳細設定」タブの表示切替、変更ボタンの有効/無効切替	6
7.2. 外部ストレージの選択	7
7.3. 仮想ドライブ新規作成画面の設定	7
7.3.1. 仮想ドライブ新規作成画面における各項目の変更可否設定	10
7.3.2. 仮想ドライブ新規作成時の各項目の既定値の設定	11
7.3.2.1. 仮想ドライブ新規作成時の各項目の既定値の設定	13
7.4. 設定画面での仮想ドライブ設定変更可能項目の設定	13
7.5. 特定ドライブに対するエクスプローラーでの表示、アクセス設定の制御	14
8. 運用の詳細設定	16
8.1. 管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブの変更、削除制限機能設定	16
8.2. リダイレクト対象フォルダーの設定	16
8.3. 「詳細設定」での外部プログラム起動、プログラム終了タイムアウト設定	17
8.4. マウント、アンマウント等のトリガーで任意のプログラムを起動する設定	17
8.4.1. 「詳細設定」画面で指定された外部プログラムと、XML で指定されたプログラムの起動順	19
8.4.2. プログラムの起動トリガーとなるタグについて	19
8.4.3. プログラムの起動設定方法の詳細	20
8.4.4. ZENMU for PC の引数について	21
8.5. アンマウント時に削除するファイルの指定	22
8.6. 仮想ドライブに移行するフォルダーの指定	22
8.7. バッファロー社製暗号化 USB RUF3-HS の対応	23
8.7.1. タグ、属性値、テキスト	24
8.8. アンマウント時に特定のアプリケーションを終了対象外に指定	24
8.9. Windows 共有フォルダーの監視接続パラメーター設定	25
8.10. Windows 共有フォルダーの死活監視の設定	25
8.11. 片系のストレージが利用できない場合でも仮想ドライブを作成可能にする設定	26
8.12. 前回アンマウントで利用したストレージのみでマウントをする。	26
9. ZENMU ツールバーのカスタマイズ	27
9.1. メニューの表示制御	27
10. ZENMU タスクトレイのカスタマイズ（非 ZENMU モード）	27

10.1.	メニューの表示制御	27
11.	仮想ドライブ作成後の設定変更	28
11.1.	ロールバックデータの保存設定	28

1. 概要

本ドキュメントでは ZENMU for PC version 5.4.0(以下 Ver5.4.0)において、設定ファイルによるカスタマイズ方法に関して説明します。

2. 過去の version との互換性

Ver5.0 で、XML の設定ファイルの書式、指定方法を Ver4.2 から一部変更しました。

Ver4.2 以前の version(3.X, 4.X)の XML をカスタマイズしている場合、そのままご利用頂いても動作に悪影響を与えることはありません。しかし、設定が反映されない場合がありますので、Ver5.0 以降の XML の書式に合わせた形で再度作成していただくことをお勧めします。

3. Ver5.4.0 の変更点

Ver5.4.0 では Ver5.3.1 から以下の点に変更されています。

- 「[6.2 メニューの表示制御](#)」に Rollback タグおよび説明を新規追加。
- 「[7.3 仮想ドライブ新規作成画面の設定](#)」に DriveSizeCustom タグおよび説明を新規追記。
- 「[11. 仮想ドライブ作成後の設定変更](#)」を新規追加。
- 「[8.4 マウント、アンマウント等のトリガーで任意のプログラムを起動する設定](#)」に RollbackBefore と RollbackAfter タグおよび説明を新規追加。
- 「[8.12 前回アンマウントで利用したストレージのみでマウントを行う設定](#)」を新規追加。
- 「[7.3 仮想ドライブ新規作成画面の設定](#)」および「[7.4 設定画面での仮想ドライブ設定変更可能項目の設定](#)」で、AskAppsToExitBeforeUnMount、KillAppsBeforeUnMount、DoNothingForAppExit タグを削除。代替となる NotifyAppsToPrepareForUnMount を新規追加。
- 「[8.1. 管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブの変更、削除制限機能設定](#)」に注意事項を追記。
- その他、誤字など修正。

4. ZenmuPC_Config.xml

Ver5.4.0 をインストールすると、Windows のシステムドライブ(例: C: ドライブ)の

C:\¥ZenmuTech¥ZenmuPC に ZenmuPC_Config.xml が作成されます。

この「ZenmuPC_Config.xml」を編集することにより、ZENMU for PC のユーザーインターフェース、動作をカスタマイズすることができます。「ZenmuPC_Config.xml」は XML ファイル形式です。Windows におけるメモ帳などのエディターで編集、保存することができます。

以下にカテゴリごとのカスタマイズ方法を説明します。カテゴリごとの設定は組み合わせて指定することができます。

全ての設定は XML のタグ、値、属性値で指定します。下記に定義されている以外の XML のタグ、値、属性値が指定されていても全て無視され、ZENMU for PC の設定に影響することはありません。

5. ZENMU for PC のログファイルの保存期間設定

ZENMU for PC のログファイル（「C:¥ZenmuTech¥ZenmuPC¥log」フォルダー配下に保存）の保存件数を設定可能です。「設定 XML ファイル」の初期設定値 30 件が設定されていますが、運用に合わせて仮想ドライブ作成後も変更は可能です。
例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Log>
    <SavePeriod>30</SavePeriod>
  </Log>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Log>

タグ	値
SavePeriod	ログファイルの保存件数の値を指定。 例: <SavePeriod>30</SavePeriod>保存件数

ログファイルは C:¥ZenmuTech¥ZenmuPC¥log フォルダー下に「logYYYYMMDD.txt」のフォーマットファイル名で日ごとにファイルが作成されます。

ファイル数が指定件数を超えた場合は、古いファイルから順に自動的に削除されます。

6. ZENMU モードスタート画面のカスタマイズ

ZENMU モードのスタート画面のボタン表示など、任意の設定が可能です。

6.1. ボタン文字列の設定

ZENMU モードで仮想ドライブを作成した場合、Windows ログイン直後の ZENMU モードスタート画面のボタン文字列を設定することが可能です。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Ui>
    <Shell>
      <TitleStart>スタート</TitleStart>
      <TitleExit>終了</TitleExit>
    </Shell>
  </Ui>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Ui><Shell>

タグ	値
TitleStart	スタートボタンの文字列を設定。 例: <TitleStart>スタート</TitleStart>
TitleExit	Windows 終了時のボタンの文字列を設定。 例: <TitleExit>終了</TitleExit>

6.2. メニューの表示制御

ZENMU モードスタート画面で任意のメニューの表示を制御することが可能です。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Ui>
    <Shell>
      <BrowserExec disp="disabled"/>
      <ExplorerExec disp="disabled"/>
      <SaveLog disp="enabled"/>
      <Rollback disp="enabled "/>
    </Shell>
  </Ui>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Ui><Shell>

タグ	属性	属性値
BrowserExec	Disp	ZENMU モードスタート画面で縦三点リーダー「:」を選択したときに、「ブラウザの起動」メニューの表示/非表示を指定する。 "enabled": 表示 "disabled": 非表示 デフォルトは、"enabled": 表示
ExplorerExec	Disp	ZENMU モードスタート画面で Ctrl を押しながら右クリックしたときに、「デスクトップ/エクスプローラーの表示...」メニューの表示/非表示を指定する。 "enabled": 表示 "disabled": 非表示 デフォルトは、"enabled": 表示
SaveLog	Disp	ZENMU モードスタート画面で縦三点リーダー「:」を選択したときに、「ログの保存」メニューの表示/非表示を指定する。 "enabled": 表示 "disabled": 非表示 デフォルトは、"disabled": 非表示
Rollback	Disp	ZENMU モードスタート画面で縦三点リーダー「:」を選択したときに、「ロールバック実行」メニューの表示/非表示を指定する。 "enabled": 表示 "disabled": 非表示 デフォルトは、"enabled": 非表示

6.3. 任意のアプリケーションを起動するメニューを設定

ZEMU モードスタート画面の三点リーダーに任意のアプリケーションを起動するメニューを設定することが可能です。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Ui>
    <Shell>
      <RunSpecifyCommand>
        <RunApp name="メモ帳">"C:\Windows\notepad.exe"</RunApp>
      </RunSpecifyCommand>
    </Shell>
  </Ui>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Ui><Shell><RunSpecifyCommand>

ZEMU スタート画面で起動させるアプリケーションの登録 (最大 10 件)

タグ	属性	属性値
RunApp	name	メニュー上に表示されるテキストを設定 例: name="メモ帳"
タグ	内容	
RunApp	起動するアプリケーションのパス 例: C:¥windows¥System32¥notepad.exe	

7. 設定画面のカスタマイズ

設定画面の項目ごとに、初期値および、有効か無効かを設定できます。

7.1. 「詳細設定」タブの表示切替、変更ボタンの有効/無効切替

ZEMU for PC 設定画面の、「詳細設定」タブの表示切替および、変更ボタンの有効、無効を設定することができます。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Ui>
    <UiSetting>
      <DetailPane disp="show" />
      <ButtonChange disp="disabled" />
    </UiSetting>
  </Ui>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Ui><UiSetting>

タグ	属性	属性値
DetailPane	disp	「詳細設定」タブの表示、非表示設定。未指定は非表示。 "show": 表示 "hide": 非表示
ButtonChange		「変更ボタン」有効、無効の設定。未指定は有効。 "enabled": 有効 "disabled": 無効

7.2. 外部ストレージの選択

外部ストレージとして選択できるストレージのリスト表示をカスタマイズすることができます。未指定時はサポートしている全ての外部ストレージのリストが表示されます。指定されている場合は指定されたストレージのみリストに表示されます。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Ui>
    <UiSetting>
      <StorageTypeAvailability>
        <Storage type="usbmemory" />
        <Storage type="iPhone" />
        <Storage type="iPhoneBLE" />
        <Storage type="androidBT" />
        <Storage type="unc" />
      </StorageTypeAvailability>
    </UiSetting>
  </Ui>
</ZenmuPC>
```

● 親タグ: <ZenmuPC><Ui><UiSetting><StorageTypeAvailability>

タグ	属性	属性値	用途
Storage	type	"usbmemory"	USB メモリー
		"iPhone"	iPhone USB
		"iPhoneBLE"	iPhone Bluetooth LE
		"androidBT"	Android Bluetooth
		"unc"	Windows 共有フォルダー

7.3. 仮想ドライブ新規作成画面の設定

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Ui>
    <UiSetting>
      <UiCreateDlg>
        <VDriveName disp="disabled" default="ZenmuVDrive" />
        <ShareSetting disp="disabled" default="off" />
        <VDriveLetter disp="disabled" default="X" />
        <VDriveSize disp="disabled" default="1GB" />
        <VDriveSizeCustom standardSize="show">
          <Size>110</Size>
          <Size>120</Size>
          <Size>180</Size>
        </VDriveSizeCustom>
        <Rollback disp="disabled" default="on" />
        <RollbackCommitNotifyCycle disp="disabled" default="5" add="5" />
        <RollbackCommitNotifyCountDown disp="disabled" default="15" add="15"/>
        <File1 disp="disabled" path_type="file"
path="C:\ZenmuTech\TestFolder\test.znm" />
        <File2 disp="disabled" device="usbmemory" path_type="folder" path="E:¥Test"/>
        <File2Backup disp="disabled" device="iPhone" path_type="folder" path="\Test"/>
        <File2UseBackup disp="disabled" default="off" />
        <ZenmuMode disp="disabled" default="on" />
        <FolderRedirect disp="disabled" default="on" />
        <MoveBrowserCacheFoler disp="disabled" default="on" />
        <ShowStorageIndicator disp="disabled" default="on" />
      </UiCreateDlg>
    </UiSetting>
  </Ui>
</ZenmuPC>
```

```
<NoDriveHDD                disp="disabled" default="on" />
<NoDriveRemovable          disp="disabled" default="on" />
<NoDriveCD                  disp="disabled" default="on" />
<NoDriveNetwork            disp="disabled" default="on" />
<SystemWideVDrive          disp="disabled" default="on" />
<DisMountOnOtherUserLoggedOn    disp="disabled" default="on" />
<CheckStorageLockOnMount      disp="disabled" default="on" />
<SkipPasswordInput          disp="disabled" default="on" />
<OpenVDriveExplorerOnMount     disp="disabled" default="on" />
<NotifyAppsToPrepareForUnMount disp="disabled" default="on" />
<DeleteTempFolderOnUnMount     disp="disabled" default="on" />
<CheckSharedFolderNetworkConnection  disp="disabled" default="on"/>
<DisMountOnDevicePlugout      disp="disabled" default="on" />
<LockWindowsOnDevicePlugout    disp="disabled" default="on" />
<WaitSecondsAfterDevicePlugout disp="disabled" default="120" add="120"/>
</UiCreateDlg>
</UiSetting>
</Ui>
</ZenmuPC>
```

仮想ドライブ新規作成画面において、カスタマイズできるタグ、及び対応する設定項目は以下になります。

タグ	ダイアログ名	用途	
VDriveName	仮想ドライブ 設定	仮想ドライブ名	
ShareSetting		他のユーザーと設定を共有する	
VDriveLetter		仮想ドライブ文字	
VDriveSize		仮想ドライブのサイズ	
VDriveSizeCustom		仮想ドライブのサイズリストに任意のカスタムサイズを追加する (GB 指定) (最大 10 個)	
Rollback		ロールバック用ファイルを作成する	
RollbackCommitNotifyCycle		ロールバックデータの自動保存	
RollbackCommitNotifyCountDown		ロールバックデータ通知と通知後の自動保存	
File1		ファイル 1(HDD)の設定	
File2		ファイル 2(プライマリストレージ)の設定	
File2Backup		ファイル 2(バックアップストレージ)の設定	
File2UseBackup		ファイル 2 のバックアップ ファイルを作成する設定	
ZenmuMode		運用設定	ZENMU モードを利用する
FolderRedirect			リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダー
MoveBrowserCacheFoler	インターネット エクスプローラーの一時ファイルフォルダー		
ShowStorageIndicator	ZENMU ツールバーに外部ストレージのインジケータを表示する		
NoDriveHDD	コンピューター内蔵のハードディスクのドライブ		
NoDriveRemovable	USB メモリー、リムーバブルディスクのドライブ		
NoDriveCD	CD/DVD のドライブ		
NoDriveNetwork	ネットワークドライブ		
SystemWideVDrive	仮想ドライブをシステムワイドで利用可能にする		
DisMountOnOtherUserLoggedOn	他のユーザーログオン時に、仮想ドライブを利用不可にする		
CheckStorageLockOnMount	ストレージがロックされている時にはマウントを不可にする (iPhone USB を利用時)		
SkipPasswordInput	マウント時、設定変更時の Windows ログオンをスキップする		
OpenVDriveExplorerOnMount	マウント時、エクスプローラーで仮想ドライブのフォルダーを開く		
NotifyAppsToPrepareForUnMount	サインアウト、シャットダウンや再起動時は実行中のアプリケーションに未保存のデータ保存やシャットダウンの準備を促す		
DeleteTempFolderOnUnMount	アンマウント時に Windows の一時ファイルを削除する		
CheckSharedFolderNetworkConnection	ネットワーク切断時、Windows 共有フォルダストレージを切断対象とする		
DisMountOnDevicePlugout	仮想ドライブを利用不可にする		
LockWindowsOnDevicePlugout	Windows をロックする		
WaitSecondsAfterDevicePlugout	仮想ドライブを利用不可、Windows をロックするまでのタイムアウト時間		

※ Ver 5.1.1 以降では、「タグ MoveFolderByJunction/用途 設定 XML ファイルに指定されているフォルダー」に対する指定はできなくなりました。本設定は on (チェック) で固定となったためです。

7.3.1. 仮想ドライブ新規作成画面における各項目の変更可否設定

仮想ドライブ新規作成で各項目の変更可否を、属性: disp, 属性値: "enabled" (変更可) / "disabled" (変更不可) で設定することができます。未指定の場合は"enabled"となります。

- 親タグ: <ZenmuPC><Ui><UiSetting><UiCreateDlg>

タグ	属性	属性値
VDriveName	disp	設定項目の変更可否を指定。 "enabled": 変更可 "disabled": 変更不可
ShareSetting		
VDriveLetter		
VDriveSize		
Rollback		
RollbackCommitNotifyCycle		
RollbackCommitNotifyCountDown		
File1		
File2		
File2Backup		
File2UseBackup		
ZenmuMode		
FolderRedirect		
MoveBrowserCacheFoler		
ShowStorageIndicator		
NoDriveHDD		
NoDriveRemovable		
NoDriveCD		
NoDriveNetwork		
SystemWideVDrive		
DisMountOnOtherUserLoggedOn		
CheckStorageLockOnMount		
SkipPasswordInput		
OpenVDriveExplorerOnMount		
NotifyAppsToPrepareForUnMount		
DeleteTempFolderOnUnMount		
CheckSharedFolderNetworkConnection		
DisMountOnDevicePlugout		
LockWindowsOnDevicePlugout		
WaitSecondsAfterDevicePlugout		

7.3.2. 仮想ドライブ新規作成時の各項目の既定値の設定

仮想ドライブ新規作成時の各項目（タグ）とその属性です。属性値に仮想ドライブ新規作成時の既定値を指定します。

- 親タグ: <ZenmuPC><Ui><UiSetting><UiCreateDlg>

タグ	属性	属性値
VDriveName	default	仮想ドライブ名を指定。 例: default="ZenmuVDrive"
ShareSetting	default	他のユーザーと設定を共有する設定を"on"/"off"を指定。 既定値は"off"。
VDriveLetter	default	仮想ドライブ文字を指定。 例: default="X"
VDriveSize	default	仮想ドライブのサイズの既定値を指定。(500MB、1GB~100GB) 例: default="1GB"、default="30GB"
VDriveSizeCustom	standardSize	仮想ドライブサイズ選択リストの既定値を隠す、または表示を指定する。指定しない場合は表示する。 例: standardSize="hide" or "show"
Rollback	default	ロールバック用ファイル作成の"on"/"off"を指定。既定値は"on"。
RollbackCommitNotifyCycle	default	ロールバックデータの自動保存時間 (分)を指定。 "-1": 「自動保存しない」 未指定の場合: "10" (10 分ごと) 例: default="10" (10 分ごとに自動保存)
	add	リストに表示されない新規の通知時間を追加。 追加した値を上記 default 値として指定することが可能。 例: add="5" (5 分ごとに通知を追加)
RollbackCommitNotifyCountDown	default	ロールバックデータ通知と通知後の自動保存間隔 (秒) を指定。 "-1": 「通知のみ」、"0": 「通知せず、すぐに保存」 未指定の場合: "0" (通知せず、すぐに保存) 例: default="0"
	add	リストに表示されない新規の通知と通知後の自動保存を追加。 追加した値を上記 default 値として指定可能。 例: add="10" (10 秒後に自動保存)
File1	path_type	属性: file に指定するファイルパスのタイプを指定 "file": ファイル名, "folder": フォルダー名 例: path_type="folder"
	path	path_type の属性値に対応する、ファイル名、フォルダー名を指定。

		<p>フォルダー名が指定された場合は、ZENMU for PC がデフォルトのファイル名をフォルダーに追加。</p> <p>例: path_type="folder" path="D:¥ZenmuFile"</p> <p>また、path には Windows の環境変数の指定が可能。</p> <p>例 : path="D:¥%USERNAME%_ZenmuFile" (仮想ドライブを作成するユーザー名が、"UserA"という名前だった場合、作成時に"D:¥UserA_ZenmuFile"と変換され既定のファイル名が表示される。)</p>
File2 File2Backup	device	<p>外部ストレージとして使用する既定のストレージを指定。</p> <p>例: device="usbmemory"</p> <p>以下の値が指定可能。</p> <p>"usbmemory" "iPhone" "iPhoneBLE" "androidBT" "unc"</p>
	path_type	<p>属性: file に指定するファイルパスのタイプを指定</p> <p>"file": ファイル名, "folder": フォルダー名</p> <p>例: path_type="folder"</p>
	path	<p>path_type の属性値に対応する、ファイル名、フォルダー名を指定。</p> <p>フォルダー名が指定された場合は、ZENMU for PC がデフォルトのファイル名をフォルダーに追加。</p> <p>例: path_type="folder" path="D:¥ZenmuFile"</p> <p>また、path には Windows の環境変数の指定が可能。</p> <p>例 path="D:¥%USERNAME%_ZenmuFile" (仮想ドライブを作成するユーザー名が、"UserA"という名前だった場合、作成時に"D:¥UserA_ZenmuFile"と変換され既定のファイル名が表示される。)</p>
File2UseBackup	default	<p>on/off の既定を指定。</p> <p>例: default="on"</p>
ZenmuMode		
FolderRedirect		
MoveBrowserCacheFoler		
ShowStorageIndicator		
NoDriveHDD		
NoDriveRemovable		
NoDriveCD		
NoDriveNetwork		
SystemWideVDrive		

DisMountOnOtherUserLoggedOn		
CheckStorageLockOnMount		
SkipPasswordInput		
OpenVDriveExplorerOnMount		
NotifyAppsToPrepareForUnMount	default	“on/off”の既定を指定。 例: default="on"
DeleteTempFolderOnUnMount	default	“on/off”の既定を指定。 例: default="on"
CheckSharedFolderNetworkConnection		
DisMountOnDevicePlugout		
LockWindowsOnDevicePlugout		
WaitSecondsAfterDevicePlugout	default	待ち時間の既定を指定。(秒) 例: default="120"
	add	任意の待ち時間を追加。(秒) 例: add="120"

7.3.2.1. 仮想ドライブ新規作成時の各項目の既定値の設定

仮想ドライブ新規作成時のドライブサイズリストへ任意サイズを追加することができます。

- 親タグ: <ZenmuPC> <Ui> <UiSetting> <UiCreateDlg> <DriveSizeCustom>

タグ	属性値
Size	任意のドライブサイズを追加する。(GB 指定) (最大 10 個) 例: <Size>150</Size> <Size>200</Size>

7.4. 設定画面での仮想ドライブ設定変更可能項目の設定

設定画面における、仮想ドライブ各設定の変更の可否を設定することができます。

(属性: disp, 属性値: "enabled" / "disabled")

設定できるタグとそれに対応する画面は、新規作成画面とほぼ同等です。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Ui>
    <UiSetting>
      <UiChangeDlg>
        <VDriveName disp="disabled" />
        <VDriveLetter disp="disabled" />
        <Rollback disp="disabled" />
        <RollbackCommitNotifyCycle disp="disabled" />
        <RollbackCommitNotifyCountDown disp="disabled" />
        <ExternalStorageSetting disp="disabled" />
        <ShowStorageIndicator disp="disabled" />
        <NoDriveHDD disp="disabled" />
      </UiChangeDlg>
    </UiSetting>
  </Ui>
</ZenmuPC>
```

```

<NoDriveRemovable disp="disabled" />
<NoDriveCD disp="disabled" />
<NoDriveNetwork disp="disabled" />
<SystemWideVDrive disp="disabled" />
<DisMountOnOtherUserLoggedOn disp="disabled" />
<CheckStorageLockOnMount disp="disabled" />
<SkipPasswordInput disp="disabled" />
<OpenVDriveExplorerOnMount disp="disabled" />
<NotifyAppsToPrepareForUnMount disp="disabled" />
<DeleteTempFolderOnUnMount disp="disabled" />
<CheckSharedFolderNetworkConnection disp="disabled" />
<DisMountOnDevicePlugout disp="disabled" />
<LockWindowsOnDevicePlugout disp="disabled" />
<WaitSecondsAfterDevicePlugout disp="disabled" />
</UiChangeDlg>
</UiSetting>
</Ui>

```

- 親タグ: <ZenmuPC><Ui><UiSetting><UiChangeDlg>

以下の設定はカスタマイズできません。

タグ	ダイアログ名	用途
ShareSetting	仮想ドライブ設定	共有設定
VDriveSize		仮想ドライブサイズ
File1		ファイル 1 の設定
File2		ファイル 2(プライマリストレージ)の設定
File2Backup		ファイル 2(バックアップストレージ)の設定
File2UseBackup		ファイル 2(バックアップストレージ)の使用設定
ZenmuMode		運用設定
FolderRedirect	リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダー	
MoveBrowserCacheFoler	インターネットエクスプローラーの一時フォルダー	

また、変更画面では以下の項目設定を変更することができます。

タグ	ダイアログ名	用途
ExternalStorageSetting	Disp	「外部ストレージの設定」の有効無効を指定。 "enabled": 有効 "disabled": 無効

7.5. 特定ドライブに対するエクスプローラーでの表示、アクセス設定の制御

C:¥, D:¥等ドライブごとに、またはドライブの種類（コンピューター内蔵ディスク、USBメモリ、CD/DVD、ネットワークドライブ)とドライブの組み合わせで、エクスプローラーでの表示、アクセスを制御することが可能です。「設定XMLファイル」に<DriveAvailability>を追加します。コンピューター内蔵ディスクのドライブが C:¥, D:¥, E:¥の様に複数あり、かつ C:¥,D:¥をアクセス禁止、またはアクセス可能にする場合に本設定が利用できます。

なお、設定画面でも類似した設定が可能です。異なる点は、「その他」-「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」の設定で「コンピューター内蔵のハードディスクのドライブ」をチェックした場合は、C:¥, D:¥, E:¥全てのハードディスクのドライブへのアクセスが禁止されます。

仮想ドライブのドライブ文字以外が指定可能です。

例)

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <DriveAvailability>
      <Available> //常にアクセス可能にするドライブを指定します。
        <HDD Drive="D" /> //HDD の D ドライブは常にアクセス可能
        <Removable Drive="E" /> //リムーバブルディスクの E ドライブが常にアクセス可能
        <CD Drive="F" /> //CD/DVD の F ドライブは常にアクセス可能
        <Network Drive="GH" /> //ネットワークドライブの G, H ドライブは常にアクセス可能
        <ANY Drive="I" /> //D ドライブは種類に関係なく常にアクセス可能
      </Available>
      <Unavailable> //常にアクセス禁止にするドライブを指定します。
        <HDD Drive="J" /> //HDD の J ドライブは常にアクセス禁止
        <Removable Drive="K" /> //リムーバブルディスクの K ドライブは常にアクセス禁止
        <CD Drive="L" /> //CD/DVD の L ドライブは常にアクセス禁止
        <Network Drive="MN" /> //ネットワークドライブの M, N ドライブは常にアクセス禁止
        <ANY Drive="O" /> //O ドライブは種類に関係なく常にアクセス禁止
      </Unavailable>
    </DriveAvailability>
  </Operation>
</ZenmuPC>

```

- 親タグ: <ZenmuPC><Operation><DriveAvailability><Available>
「運用設定」-「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」の設定とは無関係に、エクスプローラーで表示、**アクセス可能**なドライブ文字を指定します。
- 親タグ: <ZenmuPC><Operation><DriveAvailability><Unavailable>
「運用設定」-「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」の設定とは無関係に、エクスプローラーで表示、**アクセス不可**のドライブ文字を指定します。

注意:

- <Available> <Unavailable>の両方に同一のドライブ文字が指定されていた場合は<Unavailable>が指定されたのみなし、指定されたドライブを常にアクセス禁止にします。
- 「運用設定」-「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」の設定と XML の設定を同時に行った場合は XML の設定が優先され、「運用設定」-「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」の設定は無効となります。

8. 運用の詳細設定

8.1. 管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブの変更、削除制限機能設定

Windows の「管理者」ユーザーのみが仮想ドライブの変更、削除可能にすることが可能です。本設定を行った場合、Windows の「管理者」ユーザー以外が「ZENMU for PC 設定」画面で「変更」、「削除」ボタンをクリックした際に、管理者権限を持つ別のアカウント、パスワードを入力し認証が必要となります。未指定の場合は、全ユーザーが仮想ドライブの変更、削除を行うことができます。

注意：Entra ID の管理者は管理者ユーザーと認識されません。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <AdminOnlyFunction drive_change="true" drive_delete="true" />
  </Operation>
</ZenmuPC>
```

● 親タグ: <ZenmuPC><Operation>

タグ	属性	属性値
AdminOnlyFunction	drive_change	"true"の場合は管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブを変更可能。未指定の場合の既定値は"false"。 例: drive_change="true"
	drive_delete	"true"の場合管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブの削除可能。未指定の場合の既定値は"false"。 例: drive_delete="true"

8.2. リダイレクト対象フォルダーの設定

ZENMU モードでの仮想ドライブで、「リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダー」にチェックをつけて仮想ドライブを作成したときの、仮想ドライブに移動対象とするフォルダーを指定します。未指定の場合は下に指定されているフォルダー全てを仮想ドライブに移動します。

※本設定は仮想ドライブ作成時のみ有効です。また本設定を仮想ドライブ作成後のご利用中に変更しないようお願いします。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <FolderRedirect>
      <Target>
        <Name>Desktop</Name>
        <Name>Documents</Name>
        <Name>Downloads</Name>
        <Name>Favorites</Name>
        <Name>Music</Name>
        <Name>Pictures</Name>
        <Name>Videos</Name>
        <Name>Contacts</Name>
        <Name>Links</Name>
        <Name>SavedSearches</Name>
        <Name>SavedGames</Name>
        <Name>Objects3D</Name>
      </Target>
    </FolderRedirect>
  </Operation>
</ZenmuPC>
```

```

</FolderRedirect>
</Operation>
</ZenmuPC>

```

- 親タグ: <ZenmuPC><Operation><FolderRedirect><Target>

タグ	値	フォルダー	移動前の Windows 規定の場所(ユーザー名が "foo"の場合)
Name	Desktop	デスクトップ	C:¥Users¥foo¥Desktop
	Documents	ドキュメント	C:¥Users¥foo¥Documents
	Downloads	ダウンロード	C:¥Users¥foo¥Downloads
	Favorites	お気に入り	C:¥Users¥foo¥Favorites
	Music	ミュージック	C:¥Users¥foo¥Music
	Pictures	ピクチャ	C:¥Users¥foo¥Pictures
	Videos	ビデオ	C:¥Users¥foo¥Videos
	Contacts	アドレス帳	C:¥Users¥foo¥Contacts
	Links	リンク	C:¥Users¥foo¥Links
	SavedSearches	検索	C:¥Users¥foo¥Searches
	SavedGames	保存したゲーム	C:¥Users¥foo¥Saved Games
	Objects3D	3D オブジェクト	C:¥Users¥foo¥3D Objects

8.3. 「詳細設定」での外部プログラム起動、プログラム終了タイムアウト設定

「詳細設定」画面で外部プログラム起動を設定した場合の、外部プログラムのタイムアウト時間を msec で指定します。-1 が指定された時は、プログラムが終了するまで待ちます。

例)

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <ExternalProgram timeout="60000" />
  </Operation>
</ZenmuPC>

```

- 親タグ: <ZenmuPC><Operation>

タグ	属性	属性値
ExternalProgram	timeout	未指定の場合のデフォルト値は 60000msec = 60 秒

8.4. マウント、アンマウント等のトリガーで任意のプログラムを起動する設定

マウント、アンマウント時等のトリガーで起動させるプログラム、バッチファイル、スクリプトファイルを指定することが可能です。また、マウント直前、アンマウント直前に強制終了したいプログラム名を指定することも可能です。

例)

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <RunCommand timeout="60000">
      <ZenmuModeLogon <!-- ZENMU モードでログオン直後 -->
        <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp> <!-- 例メモ帳の起動 -->
      </ZenmuModeLogon>
    <CreateBefore <!-- 仮想ドライブ作成直前 -->

```

```

    <RunApp param="false" show="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
</CreateBefore>
<CreateAfter>    <!-- 仮想ドライブ作成直後 -->
    <RunApp>c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
</CreateAfter>
<MountBefore>    <!-- 仮想ドライブマウント直前 -->
    <RunApp param="false" wait="true" check_exitcode="false">c:\window\notepad.exe</RunApp>
</MountBefore>
<MountAfter>    <!-- 仮想ドライブマウント直後 -->
    <RunApp param="false" wait="false"
check_exitcode="false">c:\window\notepad.exe</RunApp>
</MountAfter>
<DeploymentBefore> <!-- フォルダーリダイレクション設定開始直前(ZENMU モードで初回に一度だけ実行)
-->
    <RunApp param="false" wait="false">c:\window\notepad.exe</RunApp>
</DeploymentBefore>
<DeploymentAfter> <!-- フォルダーリダイレクション設定開始直後(ZENMU モードで初回に一度だけ実行
されます) -->
    <RunApp param="false" wait="false">c:\window\notepad.exe</RunApp>
</DeploymentAfter>
<UnmountBefore>    <!-- 仮想ドライブアンマウント直前 -->
    <KillAppName>c:\window\notepad.exe</KillAppName> <!-- KillAppName : プログラム(.exe)の強
制終了。<UnmountBefore>のみ指定可 -->
</UnmountBefore>
<UnmountAfter>    <!-- 仮想ドライブアンマウント直後 -->
    <RunApp param="false" wait="false">c:\windows\notepad.exe</RunApp>
</UnmountAfter>
<ReMountBefore>    <!-- 仮想ドライブ再マウント直前 -->
    <!-- 以下は OneDrive を終了させる例 -->
    <RunApp param="false" wait="true" check_exitcode="false">c:\window\notepad.exe</RunApp>
</ReMountBefore>
<ReMountAfter>    <!-- 仮想ドライブ再マウント直後 -->
    <RunApp param="false" wait="false"
check_exitcode="false">c:\window\notepad.exe</RunApp>
</ReMountAfter>
    <RevertBefore> <!-- フォルダーリダイレクションを元に戻す直前 -->
    <RunApp param="false" wait="false" check_exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
</RevertBefore>
<RevertAfter> <!-- フォルダーリダイレクションを元に戻した直後 -->
    <RunApp param="false" wait="false" check_exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
</RevertAfter>
    <DeleteBefore>    <!-- 仮想ドライブ削除直前に呼び出すコマンドを指定する -->
    <RunApp show="false">c:\windows\notepad.exe</RunApp>
</DeleteBefore>
<DeleteAfter>    <!-- 仮想ドライブ削除直後 -->
    <RunApp param="false" wait="false">c:\window\notepad.exe</RunApp>
</DeleteAfter>
<RollbackBefore>
    <RunApp param="false" wait="false">c:\Rollback\myapp_before.exe</RunApp>
</RollbackBefore>
<RollbackAfter>
    <RunApp param="false" wait="false">c:\Rollback\myapp_after.exe</RunApp>
</RollbackAfter>
</RunCommand>
</Operation>
</ZenmuPC>

```

8.4.1. 「詳細設定」画面で指定された外部プログラムと、XML で指定されたプログラムの起動順

ZenmuPC_Config.xml の<RunCommand><...><RunApp> でプログラムが指定されていた場合は、「詳細設定」画面で指定されたプログラムの前に起動されます。

8.4.2. プログラムの起動トリガーとなるタグについて

マウント等のトリガーで任意のプログラム、バッチファイル、スクリプトファイルを起動するには、以下の指定をします。

<RunCommand><プログラムの起動トリガーのタグ><RunApp>

<RunCommand>タグの属性、属性値は以下の通りです。

- 親タグ: <ZenmuPC><Operation>

タグ	属性	属性値
RunCommand	timeout	起動トリガーとなるタグ(<ZenmuModeLogon>等)で実行を指定したプログラムのプロセスが終了するまでの待ち時間(msec)を指定。 未指定の場合: 60000(60 秒) 例: timeout="60000"

- <RunCommand>の注意事項
 - 指定した時間内にプログラムが終了しない場合は、エラーと判断します。
 - timeout が未指定の場合は 60000(60 秒)が既定値としてセットされます。

マウント、アンマウント等のプログラムの起動トリガーのタグは、以下の種類があります。

- 親タグ: <RunCommand>

プログラムの起動トリガーのタグ	トリガー
ZenmuModeLogon	ZENMU モードで ZENMU モードスタートアップ画面が立ち上がった直後
CreateBefore	仮想ドライブ作成直前
CreateAfter	仮想ドライブ作成直後
MountBefore	マウント直前
MountAfter	マウント直後
DeploymentBefore	フォルダーリダイレクト設定開始直前(ZENMU モードで初回に一度だけ実行)
DeploymentAfter	フォルダーリダイレクト設定終了直後(ZENMU モードで初回に一度だけ実行)
UnMountBefore	アンマウント直前
UnMountAfter	アンマウント直後
ReMountBefore	再マウント直前
ReMountAfter	再マウント直後
RevertBefore	フォルダーリダイレクションを元に戻す直前(仮想ドライブ削除時に一度だけ実行)
RevertAfter	フォルダーリダイレクションを元に戻した直後(仮想ドライブ削除時に一度だけ実行)
DeleteBefore	仮想ドライブ削除直前
DeleteAfter	仮想ドライブ削除直後
RollbackBefore	ロールバック実行前

RollbackAfter	ロールバック実行後
---------------	-----------

- 以下の書式で設定します。詳細は 8.4.3.を参照してください。

```
<RunCommand><プログラムの起動トリガーのタグ>
  <RunApp>プログラムの絶対パス</RunApp>
</プログラムの起動トリガーのタグ></RunCommand>
```

8.4.3. プログラムの起動設定方法の詳細

プログラムの起動トリガーのタグの後に<RunApp>に属性と属性値、起動するプログラム、バッチファイル、スクリプトファイル（以下「プログラム等」）を指定します。

また、プログラムのトリガーのタグが<UnmountBefore>の時のみ、<KillAppName>タグを指定してアンマウント時に強制終了したいプログラム等の実行ファイル名を指定することができます。

- 親タグ: <プログラムの起動トリガーのタグ>

タグ	属性	属性値
RunApp	show	起動するプログラムの表示可否 true（表示） [既定値]/false（非表示）を指定 例: show="true"
	param	起動するプログラムに、ZENMU for PC の引数（プログラムの起動トリガーを表す文字列/ 仮想ドライブ文字情報）を true（指定して起動） [既定値]/false（非表示）を指定 例: param ="true" ※ 8.4.4 参照
	wait	起動したプログラムの終了を true（待つ） [既定値]/false（待たない）を指定 例: wait ="true"
	check_exitcode	起動したプログラムの終了コードの確認可否 true(確認する) [既定値]/false（確認しない）を指定 例: check_exitcode ="true" ※wait="true"のときのみ有効。 ※true の場合は終了コード=0 でない場合はエラーと判断
KillAppName	show	起動するプログラムの表示可否 true（表示） [既定値]/false（非表示）を指定 例: show="true"

- <RunApp>の書式

```
<RunApp param="false" show="false" wait="true" check_exitcode="false">起動するプログラムの絶対パス</RunApp>
```

- <KillAppName>の書式

```
<KillAppName>explorer.exe</KillAppName>
```

- <RunApp>の注意事項

- 属性が未指定の場合は、既定値が設定されたとして動作します。
- プログラム等は絶対パスで指定し、絶対パスに空白文字を含む場合は""で囲む必要があります。また環境変数を使用することも可能です。
- 指定するプログラム独自の引数を指定することが可能です。（例：notepad.exe c:¥test.txt）

- 1つの<プログラムの起動トリガーのタグ>で複数のプログラム等を指定することが可能です。起動するプログラム等ごとに<RunApp>タグを設定してください。
- 「check_exitcode = "true"」を指定した場合は、「プログラムの終了コード=0」をプログラムの正常終了と判定します。0以外の場合はエラーと判定します。
- なお、「check_exitcode」は「wait="true"」の場合のみ有効となります。
- プログラムの起動トリガーのタグが "Before"で終わる <CreateBefore>、<MountBefore>、<DeploymentBefore>、<UnMountBefore>、<ReMountBefore>、<DeleteBefore>の場合は、check_exitcode がエラーとなった場合は、その後のマウント等の処理はキャンセルされます。

例)

```

<MountBefore>
  パスにスペースがある場合は""で囲む
  環境変数が指定可能
  <RunApp show="false" param="true" wait="true" check_exitcode="false"> プログラム 1
  C:\Test Program\taskkill.exe /IM %LOCALAPPDATA%\Microsoft\OneDrive\OneDrive.exe /F</RunApp>
  <RunApp show="true" param="false" wait="false"> c:\test\test.exe -a</RunApp> プログラム 2
</MountBefore>
  プログラム独自の引数が指定可能
  
```

◇ プログラム 1: 「C:¥Test Program¥taskkill.exe」の実行

- show="false" : C:¥Test Program¥taskkill.exe は表示しない
- param="true" : ZENMU for PC の引数を指定する ※8.4.4.参照
- wait="true" : プログラムの実行の終了を待つ。
- check_exitcode="false" : プログラムの終了コードは確認しない。

◇ プログラム 2: 「C:¥Test Program¥taskkill.exe」の実行

- show="true" : C:¥test¥test.exe を表示する
- param="false" : ZENMU for PC の引数を指定しない※8.4.4.参照
- wait="false" : プログラムの実行の終了を待たない。

● <KillAppName>の注意事項

- プログラムのトリガーのタグが<UnMountBefore>の時のみ指定できます。

8.4.4. ZENMU for PC の引数について

既定では ZENMU for PC の引数（プログラムの起動トリガーを表す文字列/仮想ドライブ文字情報）を引数として指定されま

す。
引数を指定せずに起動したい場合は<RunApp> タグで param="false" を指定して下さい。(8.4.3.参照)

ZENMU for PC の引数は以下の通りです。

-cmd [起動トリガーを表す文字列] -vdrive [仮想ドライブ文字]:

- 例 : -cmd create_before -vdrive Z:

起動トリガーを表す文字列	起動トリガーのタグ	トリガー
zenumode_logon	ZenmuModeLogon	ZENMU モードで ZENMU モードスタート アップ画面が立ち上がった直後
create_berore	CreateBefore	仮想ドライブ作成直前
create_after	CreateAfter	仮想ドライブ作成直後
mount_before	MountBefore	マウント直前
mount_after	MountAfter	マウント直後

deployment_before	DeploymentBefore	フォルダーリダイレクト設定開始直前
deployment_after	DeploymentAfter	フォルダーリダイレクト設定終了直後
unmount_before	UnMountBefore	アンマウント直前
unmount_after	UnMountAfter	アンマウント直後
remount_before	ReMountBefore	再マウント直前
remount_after	ReMountAfter	再マウント直後
delete_before	DeleteBefore	仮想ドライブ削除直前
delete_after	DeleteAfter	仮想ドライブ削除直後
rollback_before	RollbackBefore	ロールバック実行前
rollback_after	RollbackAfter	ロールバック実行後

例)仮想ドライブが Z ドライブの場合

```
<CreateBefore>
  <RunApp param="false" show="false" wait="false">C:\test\test.exe</RunApp>
</CreateBefore>
```

起動されるプログラムとその引数

```
C:\test\test.exe -cmd create_before -vdrive Z:
```

8.5. アンマウント後に削除するファイルの指定

アンマウント時に、仮想ドライブ以外の任意のファイル、またはフォルダー内の全てのファイルを削除する指定が可能です。

Windows サインインユーザーアカウントで削除できるファイルのみ削除可能です。フォルダーを指定した場合は、そのフォルダー以下のファイル、サブフォルダーが削除されます(指定されたフォルダー自体は削除されません)。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <DeleteFolderFiles>
      <Folder path="c:\foo" />
      <File path="c:\fooFolder\test.txt" />
    </DeleteFolderFiles>
  </Operation>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC> <Operation> <DeleteFolderFiles>

タグ	属性	属性値
Folder	path	アンマウント時にフォルダー内の全てのファイルを削除するフォルダーを指定。 指定したフォルダー以下のサブフォルダー、ファイルをアンマウント時に削除。 (指定したフォルダー自体は削除対象外) 例: path="c:¥foo"
File	path	アンマウント時に削除するファイルを指定。 例: path="c:¥fooFolder¥test.txt"

8.6. 仮想ドライブに移行するフォルダーの指定

ZENMU モードで仮想ドライブ作成時は、フォルダーを最大 **20** 個まで仮想ドライブに移動可能です。本機能は Windows の「ジャンクション (Junction) 」機能を利用して実現しています。また、移動できるフォルダーは ログオンユーザーでアクセス (コピー、削除) できるフォルダーのみです。

実際に移動させる場合は、ZenmuPC_Config.xml の設定に記述後、仮想ドライブ作成時の「運用設定」画面において、「設定 XML ファイルに指定されているフォルダー」をオンにする必要があります(詳細は、「2_ZENMU_for_PC_Ver5.3_マニュアル_運用編 2.3.1.「ZENMU モード」の新規設定 (3)」を参照)。

移動対象フォルダーは「 Z:¥Users¥[username]¥Junction¥ 」配下に移動され (仮想ドライブが Z ドライブの場合)、移動元のフォルダーにはジャンクションが作成されます。

ZenmuPC_Config.xml の設定から記載を削除した場合、記載を削除したフォルダーに関しては、次回のマウント時に仮想ドライブから元の位置に戻します。

Microsoft Outlook の Outlook のフォルダーを指定し、仮想ドライブに移動、アプリケーションが動作することを確認しております。

以下は Microsoft Outlook の Outlook のフォルダーを仮想ドライブに移動する設定例です。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <JunctionFolders>
      <Junction name="Outlook" source="%LOCALAPPDATA%\Microsoft\Outlook" target="Outlook" />
    </JunctionFolders>
  </Operation>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Operation><JunctionFolders>

タグ	属性	属性値
Junction	name	移動するフォルダー名を指定。(本値は内部的に利用。)
	source	移動するフォルダーのパスを指定。 "%LOCALAPPDATA%" などの環境変数が利用可能。
	target	移動先のサブフォルダー名を指定。 このタグで指定されたフォルダーは、仮想ドライブの Z:¥Users¥[username]¥Junction フォルダー配下に移動される。 例 : target="outlook" Z:¥Users¥[username]¥Junction¥outlook フォルダーが作成される source で指定されたフォルダーが「outlook」フォルダー移動される。

上記の XML の設定、仮想ドライブのドライブ文字が Z である場合、Outlook のデータフォルダー(%LOCALAPPDATA%¥Microsoft¥Outlook)を Z:¥Users¥[username]¥Junction¥Outlook へ移動し、元のフォルダーにはジャンクションを作成します。これにより、Outlook の設定等を変更することなく、Outlook の OST ファイルを仮想ドライブ上で利用することが可能となります。

8.7. バッファロー社製暗号化 USB RUF3-HS の対応

ファイル2(プライマリストレージまたはバックアップストレージ)に設定するUSBメモリーに暗号化USBメモリーを指定したい場合は、

バッファロー社製暗号化USB RUF3-HSシリーズが動作確認済みです。ただし、「設定XMLファイル」に設定を追加する必要があります。

仮想ドライブ作成後に RUF3-HS が USB メモリーを暗号化している場合は、自動的に復号化プログラムを起動してパスワード入力画面を表示し、復号化が確認できた後に仮想ドライブをマウント等することが可能となります。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <UsbDevConfig>
      <Vendor VendorId="0411" Name="Buffalo">
        <Product DecryptionProgramPath="\OPEN_HS.exe">
          <ProductId>026F</ProductId>
        </Product>
      </Vendor>
    </UsbDevConfig>
  </Operation>
</ZenmuPC>
```

8.7.1. タグ、属性値、テキスト

- 親タグ: <ZenmuPC><Operation><UsbDevConfig>

タグ	属性	値	意味
<Vendor>	VendorId	411	バッファロー社製 USB の VendorId
	Name	Buffalo	ベンダーの名前
<Product>	DecryptionProgramPath	¥OPEN_HS.exe	復号化プログラムのファイル名
<ProductId>	-	026F	RUF3-HS の ProductId

8.8. アンマウント時に特定のアプリケーションを終了対象外に指定

「運用設定」-「アンマウント」-「アプリケーションの終了を確認する」を指定した場合に、有効となる設定です。終了確認をすることにより弊害が発生する、または終了させたくないアプリケーションが存在した場合に、以下の方法で特定のアプリケーションを終了対象外に指定することが可能です。

指定個数に上限はなく、複数指定することも可能です。以下は、メモ帳と Outlook を終了対象外にする例です。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <AppShutdownExceptionList>
      <App name="notepad.exe" />
      <App name="OUTLOOK.EXE" />
    </AppShutdownExceptionList>
  </Operation>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Operation><AppShutdownExceptionList>

タグ	属性	属性値
App	Name	終了対象外にするアプリケーションの実行ファイルを指定。 複数ある場合は、行を追加して指定。 例: メモ帳 : App Name="notepad.exe" Outlook : App Name="OUTLOOK.EXE"

8.9. Windows 共有フォルダーの監視接続パラメーター設定

「運用設定」-「マウント中のストレージ切断時の動作」-「ネットワーク切断時、Windows 共有フォルダストレージを切断対象とする」を指定した場合に有効となる設定です。ネットワーク状態監視開始／変更時に Windows 共有フォルダへアクセス確認を行っていますが、ご利用の環境によってはアクセス検知の精度に差異が存在する為、ご利用の環境に適したアクセスチェック遅延時間、接続リトライ時間の設定が可能です。尚、任意に設定しない場合は、DelayTime、RetryTime とともにデフォルト 5000ms（5 秒）で動作する仕様です。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <UncConnection>
      <DelayTime>5000</DelayTime>
      <RetryTime>5000</RetryTime>
    </UncConnection>
  </Operation>
</ZenmuPC>
```

● 親タグ: <ZenmuPC><Operation>

タグ	属性	属性値
UncConnection	DelayTime	ネットワーク状態の監視開始／変更時に検知してから Windows 共有フォルダへチェックを遅らせる時間。 ・単位：ミリ秒で指定 ・設定範囲 0 ～60000（60 秒） ・未指定の場合は、5000（5 秒） ※環境によっては短すぎると正しく検知できない可能性があります。
	RetryTime	ネットワーク状態の監視開始／変更時に Windows 共有フォルダへの接続リトライ時間。 ・単位：ミリ秒で指定 ・設定範囲 1000（1 秒）～60000（60 秒） ・未指定の場合は、5000（5 秒）

8.10. Windows 共有フォルダーの死活監視の設定

プライマリ、またはバックアップストレージに Windows 共有フォルダを利用して、かつ、「ネットワーク切断時、Windows 共有フォルダストレージを切断対象とする」設定をしている場合に、Windows 共有フォルダの死活監視をおこなう設定が可能です。※切断検知には Windows OS、環境に依存する為、30 秒～2 分程度かかることもあります。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <UncConnection>
      <KeepAlive enable="true" />
    </UncConnection>
  </Operation>
</ZenmuPC>
```

● 親タグ: <ZenmuPC><Operation><UncConnection>

タグ	属性	属性値
KeepAlive	enable	"true": 機能有効 "false": 機能無効 Windows 共有フォルダの死活監視機能の設定

8.11. 片系のストレージが利用できない場合でも仮想ドライブを作成可能にする設定

本機能は、仮想ドライブ作成時に、Windows 共有フォルダーに接続不可でも、もう一方の外部ストレージが接続可能であれば、仮想ドライブ作成可能となります。すなわち、外部ストレージ（プライマリーまたはバックアップ）に Windows 共有フォルダーを指定した場合のみ利用することが可能です。Windows 共有フォルダー以外の外部ストレージは本機能対象外となり、常に機能無効として動作します。

- 機能有効の場合は、仮想ドライブ作成時に、プライマリー、またはバックアップストレージのどちらかが利用可能であれば仮想ドライブ作成が可能です。また、仮想ドライブ作成時に利用できなかった方のストレージの設定は、作成後も継続して設定されます。
- 機能無効の場合は、プライマリー・バックアップストレージ、両方利用可能でないと仮想ドライブ作成は出来ません。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <VDriveCreate storage_failover="true" />
  </Operation>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Operation>

タグ	属性	属性値
VDriveCreate	storage_failover	"true": 機能有効 "false": 機能無効 未指定の場合は false

8.12. 前回アンマウントで利用したストレージのみでマウントを行う設定

本機能は、前回のアンマウント処理で、分散ファイル 2 の保存に成功したストレージのみを利用してマウントを行います。

例えばプライマリー、バックアップストレージを設定していて、プライマリーストレージが切断された状態でアンマウントをした場合、バックアップストレージのみに分散ファイル 2 の書き込みが成功します。その際は、次回マウント時にはバックアップストレージのみを利用してマウントが行われます。マウント時にプライマリーストレージの切断状態が継続していたとしても、接続確認が行われないため、マウント時の待ち時間を短縮することが可能です。またマウント完了後にマウント時に利用しなかったストレージのアクセス確認を行いますので、ZENMU ツールバーで処理中と表示されます。

※本機能を有効にすると、マウント時にプライマリー、バックアップストレージの同期を行わなくなるため、同期を行いたい場合は、有効にしないでください。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Operation>
    <MountOptions>
      <StorageUsageOnUnmount enable="true" />
    </MountOptions>
  </Operation>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Operation><MountOptions>

タグ	属性	属性値
StorageUsageOnUnmount	enable	"true": 機能有効 "false": 機能無効 未指定の場合は false

9. ZENMU ツールバーのカスタマイズ

9.1. メニューの表示制御

ZENMU ツールバーのメニューを表示/非表示に制御することが可能です。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Ui>
    <Toolbar>
      <SaveLog disp="disabled"/>
    </Toolbar>
  </Ui>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Ui><Shell>

タグ	属性	属性値
SaveLog	disp	ZENMU ツールバーの設定ボタン[歯車]→その他→「ログファイルの保存」メニューの表示/非表示を指定する。 "enabled": 表示 "disabled": 非表示 デフォルトは、"enabled": 表示

10. ZENMU タスクトレイのカスタマイズ (非 ZENMU モード)

10.1. メニューの表示制御

ZENMU タスクトレイのメニューを表示/非表示に制御することが可能です。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <Ui>
    <Toolbar>
      <SaveLog disp="disabled"/>
    </Toolbar>
  </Ui>
</ZenmuPC>
```

- 親タグ: <ZenmuPC><Ui><Shell>

タグ	属性	属性値
SaveLog	disp	ZENMU タスクトレイのアイコンを右クリックし「ログファイルの保存」メニューの表示/非表示を指定する。 "enabled": 表示 "disabled": 非表示 デフォルトは、"enabled": 表示

11. 仮想ドライブ作成後の設定変更

Ver5.4.0 以降では、仮想ドライブ作成後に、設定画面を表示せずに一部の設定項目の設定変更をすることができます。設定は、次の Windows サインイン直後に反映されます。

11.1. ロールバックデータの保存設定

ロールバックデータの保存の有無、通知間隔、通知後の保存間隔を設定可能です。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZenmuPC>
  <VirtualDrive>
    <Rollback Enable="true" CommitNotifyPeriodMin="10" CommitCountdownSec="0"
Domain="zenmotech.com" User="zpc" />
  </VirtualDrive>
</ZenmuPC>
```

タグ	設定画面のタイトル	設定変更可能な項目
Rollback	ロールバック	<ul style="list-style-type: none"> ● ロールバック用のファイルを作成する ● ロールバックデータの自動保存の間隔 ● 通知と通知後の自動保存

各設定項目の設定変更方法は、以下のようになります。

※Domain 属性と User 属性の両方が省略した場合は、すべての Windows ユーザーが設定変更対象となります。

親タグ: <ZVDrive><VirtualDrive>

タグ	属性	設定値
Rollback	Enable	ロールバック用ファイル作成をするかどうか。true(作成する) /false(作成しない)を指定。 例) Enable="true"
	CommitNotifyPeriodMin	ロールバックデータの自動保存間隔 (分)。 -1 を指定した場合、自動保存しない設定になる。 例) 保存間隔 10 分の場合、CommitNotifyPeriodMin="10"
	CommitCountdownSec	ロールバックデータ通知と通知後の自動保存間隔(秒)を指定。-1 を指定した場合は「通知のみ」、0 を指定した場合は「通知せず、すぐに保存」になる。 例) 自動保存間隔 10 秒の場合、CommitCountdownSec="10"
	Domain	設定変更対象ユーザーの Windows ドメイン名。 ドメインに所属していない PC の場合は、コンピューター名。 例: Domain="zenmotech.com"
	User	設定変更対象ユーザーの Windows ユーザー名。 例: User="zpc" 属性 Domain を指定する場合は、本属性は必須。

ZENMU for PC Ver5.4.0 XML ファイルによるカスタマイズ

発行日：2025 年 6 月

発行者：株式会社 ZenmuTech

連絡先：〒104-0061

東京都中央区銀座 8-17-5 THE HUB 銀座 OCT 804

TEL 03-6260-6195

FAX 03-6260-6197

URL: <https://zenmutech.com>

email : zenmu-support@zenmutech.com

無断複製・転載を禁じます。ZENMU for PC は、株式会社 ZenmuTech の製品です。本手順書記載のサーバー製品、OS、アプリケーション等各製品の著作権は、その製造元もしくは販売元に準ずるものとなります。